

県央の「ものづくり」企業を視察
 ～金融業部会視察見学会～

金融業部会（並木富士雄部会長）は、11月7日に燕市で、地域と密着しながら発展をしている「ものづくり」企業2社を視察見学しました。参加者は10名。

包丁等の製造販売業「藤次郎株式会社」では、工場と見学コースが一体となった「藤次郎オープンファクトリー」において、同社の藤田進社長から製造工程などの説明を受け、包丁の鍛造や研磨作業を間近に見学しました。

また、家電製品等の開発型企業「ツインバード工業株式会社」では、20名体制の少人数で機動力を発揮した



藤次郎株の包丁鍛造現場を見学

製造ラインや製品ギャラリーを見学し、当社の浜野取締役本部長から企業概要などの説明を受けました。

全国商工会議所 観光振興大会2017
 前橋に参加～観光業部会視察見学会～



世界遺産の富岡製糸場にて

観光業部会（星野佳人部会長）は11月9日から10日にかけて、視察見学会を参加者17名で開催しました。

今回は、前橋市で開催された「全国商工会議所観光振興大会」に参加したほか、富岡製糸場とこんにゃくパークを見学しました。

同大会では、各地域が持つ特色を観光資源として磨き上げることで、観光振興や地域経済の活性化につなげ、地方都市ならではの観光の形を構築できることを確認しました。

また、2014年に世界遺産登録

された富岡製糸場では、繰糸機や建造物の特徴のほか、操業時の工女の暮らしぶりなどの説明があり、参加者は当時の様子について興味深く話に聞き入っていました。

近代のものづくりや歴史に触れる
 ～輸送業部会視察見学会～

輸送業部会（高橋浩部会長）は、10月31日から11月1日に名古屋方面への視察見学会を実施しました。

今回は、ロボットが主流となって車づくりをしている「三菱自動車工業（株）岡崎製作所」や、高速鉄道技術の進歩を紹介する「リニア・鉄道館」などを見学し、近代のものづくりや歴史を学びました。

三菱自動車工業（株）岡崎製作所では、



最先端の技術について説明を受ける

塗装と車体組立工場として、最先端の技術を用いており、生産性の向上や環境への配慮を実現した生産ラインを見学しました。生産能力は1分に1台のペースで、年間約25万台。その97%は輸出されており、国内だけでなく海外生産拠点のマザー工場としても重要な役割を担っており、その取り組みに関心を深めました。

新潟市の都市計画について意見交換
 ～政策委員会～

政策委員会（曾山稔委員長）は、11月15日に委員会を開催し、今後の研究テーマの選定と、平成20年10月に、当所が取り纏めた提言書「実態に即した用途地域等の設定によるまちづくりの推進」の現状確認を兼ねて、新潟市都市計画基本方針について市の担当者から説明を受けました。

新潟市の都市計画の現状を踏まえ、各委員から意見が出され、その結果、次回以降は、「新潟市の都市未来図（仮称）」というテーマで、住環境や都市公園、防災・安全など、様々な分野で研究を進めていくことになりました。

農産物の輸出の現状と今後の戦略に
 ついて
 ～国際貿易委員会～

国際貿易委員会（高橋和郎委員長）は、10月25日と11月22日に委員会を開催し、いずれも現在検討している

「オール新潟での農産品を中心とした県産品の共同輸出体制構築に向けた提言」について意見交換を行い、11月22日は、県と市の担当者から、農産物の輸出の現状と今後の戦略について説明を受けました。

県の担当者は「新潟県農産物の輸出品目の91%が米で、全国の輸出用米の中で新潟県米のシェアは48%と高い。米以外の品目、園芸などの輸出も推奨しているが、ロットがまとまらない。一部若手生産者を除き、農家のほとんどが国内販売に目が向き、国内市場の縮小という危機感や海外輸出といった視点に立っていない」と説明しました。

人生設計の講習会と

米山県知事の講演会を開催
～女性会～

新潟商工会議所女性会（田中久美子会長）は、11月8日に「これから」を豊かにするいきいき人生設計」をテーマに、参加者17名で講習会を開催しました。

当日は、エピローグコンサルティンク(株)代表取締役の小野寺秀友氏を講師に迎え、今後の人生設計の方法について説明を受けました。

小野寺氏は、8項目の質問に答えるだけで自分の目標が自然と明確になっていく。マンダラエンディングノート[®]を活用しながら、体験型のグループ学習形式で講義を行い、参

加者は自分の考えをノートに記入しながら、設定目標についてお互いに発表し合うなど、真剣に人生設計を再考していました。



当所女性会で講演する米山知事

また、同17日には、米山隆一県知事を講師に迎え「これからの新潟県政について」と題して講演会を開催し、42名が参加しました。

米山県知事は、平成10年から19年連続で減少している「新潟県の人口動態の現状」や「新潟県の社会動態の動きなどについて統計データに基づき説明した上で、「少子化対策や子育て支援等を推進し、これからの県政は人口減少問題に本気で向き合わなければならない」と強調しました。

また、新潟県では男女共同参画社会の実現に向けた取り組みをより効

果的に推進するため計画を策定しているが、男女共同参画に取り組み上での考え方としては、「男性と女性では行動様式に違いがあるため、社会または家庭において相手側に参画の機会を与えて、お互いに歩み寄り、受容することが大切である。女性が仕事と家庭を両立できることが企業にとっても社会全体を維持していくためにも必要であり、こうしたことをさらに進め『男女共同参画』のできる機会を推進していきたい」と締めくくりました。

土屋名人が模範演技を披露

～第70回新潟県珠算競技大会～

11月5日、当所と（一社）新潟県商工会議所連合会、新潟県珠算振興会が主催する「第70回新潟県珠算競技大会」が開催され、小学生から一般まで約200名が参加し、競技に臨みました。

本大会は、県内におけるそろばんの振興と技術の向上を図ることを目的に毎年開催しており、今回は70回目の記念大会の特別イベントとして、珠算名人の土屋宏明氏を招き、講演と模範演技も行いました。

講演では、土屋名人がそばんにかける思いやこれまでの経験を語り、さらに模範演

技では自身の神業を披露するなど、参加者にとって大変貴重な経験となりました。

競技結果は左図のとおりです。



選手に上達のためのアドバイスをする土屋珠算名人

第70回新潟県珠算競技大会優勝者

第1部のI (50歳未満)	神田 翔真 (新潟大学)
第1部のII (50歳以上)	中沢 秀一 (中沢珠算学校)
第2部 (高校生)	太田 美紅 (燕中等教育学校)
第3部 (中学生)	星名 陸 (栖吉中学校)
第4部 (小学校5・6年生の部)	松田 祐奈 (新大附属長岡小学校)
第5部 (小学校4年生以下の部)	加藤 洋樹 (加治川小学校)

※第70回記念イベント開催により、種目別競技を休止したため、個人総合の優勝者のみ掲載（敬称略）